

J R旅客会社の基準単価・基準コスト等について

J R旅客会社（J R旅客会社とは、北海道旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社及び九州旅客鉄道株式会社の6社の総称です。）の基準単価・基準コスト等は、次のとおりです。

1. 基準単価

平成19年8月1日以降にJ R旅客会社が運賃改定の申請を行う場合の基準単価の算定は、次式により行います。

$$\text{基準単価 } y = ax_1 + bx_2 + c$$

(1) 線路費 $y =$ 線路延長1キロ当たり基準単価
 $a = 9,881.990$ $b = 0.556$ $c = -39,125.907$
 $x_1 =$ 車両密度（対数） $x_2 =$ 雪量
（線路費とは、線路や路盤の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(2) 電路費 $y =$ 電線延長1キロ当たり基準単価
 $a = 5.958$ $b = 36.611$ $c = -352.693$
 $x_1 =$ 電車密度 $x_2 =$ 電車線割合
（電路費とは、電車線や信号設備等の維持補修、作業管理に要する経費です。）

(3) 車両費 $y =$ 車両1両当たり基準単価
 $a = 60.960$ $b = 0.482$ $c = -2,323.765$
 $x_1 =$ 1両当たり車両走行キロ $x_2 =$ 雪量
（車両費とは、車両の整備補修、作業管理に要する経費です。）

(4) 列車運転費 $y =$ 営業キロ当たり基準単価
 $a = 21.335$ $b = 3,814.659$ $c = -5,937.021$
 $x_1 =$ 1列車1キロ当たり乗車人員 $x_2 =$ 列車密度（対数）
（列車運転費とは、列車の運転や作業管理に要する経費です。なお、動力費は含まれていません。）

(5) 駅務費 $y =$ 1駅当たり基準単価
 $a = 44.254$ $b = 67,105.882$ $c = -242,130.821$
 $x_1 =$ 1駅当たり乗車人員 $x_2 =$ 平均乗車距離（対数）
（駅務費とは、駅の維持や乗車券の発行等に要する経費です。）

2. JR旅客会社の平成18年度の基準単価、基準コスト、実績コスト等の状況

平成18年度の基礎データに基づき算定した基準単価、平成18年度の施設量及び基準単価に施設量を乗じて算定された基準コストの合計額並びにそれに対応する実績コストの合計額は、以下のとおりです。

なお、基準コストは、鉄軌道業の各種経費のうち、各社共通で比較可能な線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費の5費目（ヤードステイック対象経費という。）についてその基準となるコストを示すものであり、輸送サービスの質や事業全体の評価を行うものではありません。

ちなみに、旅客鉄道会社の鉄軌道業の営業費用に占めるヤードステイック対象経費の割合は6社平均で、45%です。

(1) 基礎データ

	線路費		電路費		車両費		列車運転費		駅務費	
	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2	x1	x2
北海道	3.879	6,049	54.737	21.513	127.770	6,049	122.850	2.682	271.942	4.026
東日本	5.188	582	157.767	31.154	172.476	582	490.205	3.544	3,519.683	3.186
東海	5.762	65	298.938	24.906	313.946	65	534.621	3.928	1,264.870	5.202
西日本	5.058	86	133.233	32.543	188.348	86	267.707	3.693	1,491.878	3.806
四国	4.275	0	78.844	23.130	141.671	0	71.383	3.210	188.659	3.854
九州	4.614	0	92.014	27.822	164.966	0	122.507	3.447	528.919	3.734

(2) 基準単価

基準単価は、(1)の基礎データを基準単価算定の式に代入して求めます。

(単位：千円)

	線路費	電路費	車両費	列車運転費	駅務費
北海道	2,570	761	8,381	6,915	40,072
東日本	12,465	1,728	8,471	18,041	127,429
東海	17,850	2,340	16,846	20,453	162,930
西日本	10,905	1,633	9,199	13,862	79,296
四国	3,120	964	6,312	7,831	24,844
九州	6,470	1,214	7,733	9,826	31,849

(3) 施設量

	線路延長 (キロ)	電線延長 (キロ)	車両数 (両)	営業キロ (キロ)	駅数 (駅)
北海道	3,106.2	5,303.4	1,176	2,499.8	465
東日本	12,696.3	44,738.5	13,179	7,526.8	1,702
東海	3,326.5	13,822.6	3,370	1,970.8	407
西日本	8,056.1	27,792.5	6,725	4,993.3	1,209
四国	898.4	1,757.0	456	855.2	258
九州	2,771.7	9,543.9	1,695	2,121.7	556

(4) 基準コスト合計額 及び実績コスト合計額

	基準コスト (百万円)	実績コスト (百万円)
北海道	57,794	61,444
東日本	699,882	743,448
東海	255,115	255,409
西日本	360,186	377,913
四国	20,482	20,183
九州	81,182	70,086

(注) 「基準コスト合計額」は、線路費、電路費、車両費、列車運転費及び駅務費のそれぞれについて(2)基準単価に(3)施設量を乗じて算定した基準となるコストの合計であり、実績コスト合計はそれに対応する実績の支出額です。